

細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

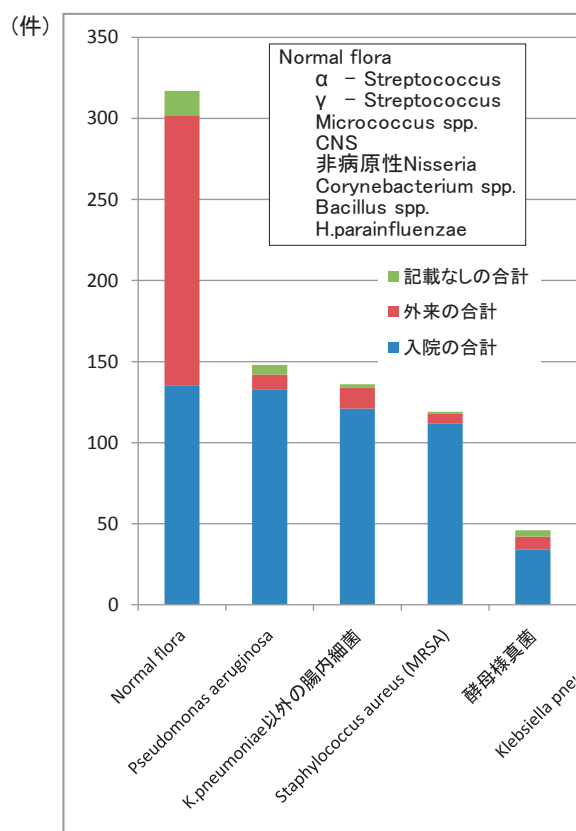
診断・治療のお役に立てるよう当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せてご覧いただけたら幸いです。

今回は、入院患者から多く検出されている、メチシリン耐性 *Staphylococcus aureus* (MRSA) の細菌検出状況と細菌薬剤感受性情報を掲載いたします。

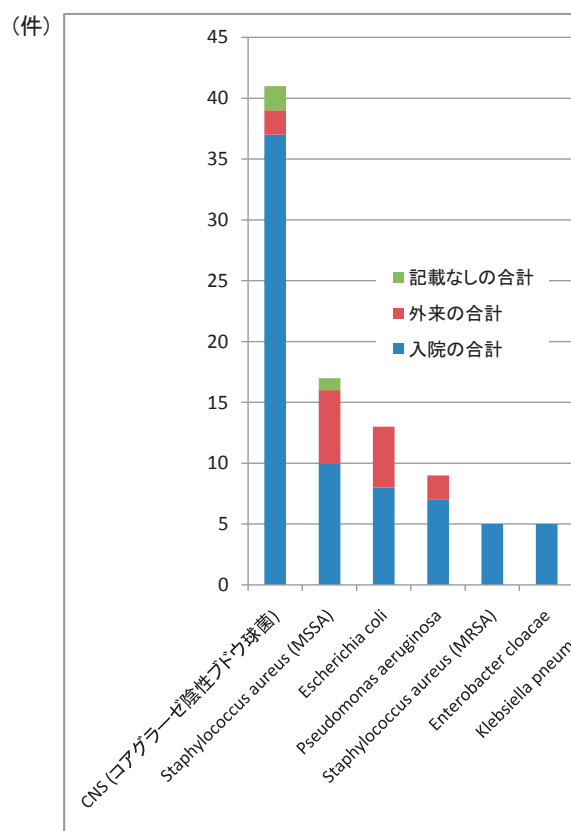
【細菌検出状況】

2017年8月分

【喀痰】細菌検出状況



【血液・穿刺液】細菌検出状況



メチシリン耐性 *Staphylococcus aureus* (MRSA) は院内感染を起こす代表的な菌で、入院患者から検出される頻度が一番多い耐性菌です。国内では近年、MRSA は減少傾向にあるといわれています。入院患者から MRSA が検出される主な疾患としては、呼吸器感染症、敗血症、皮膚・軟部組織感染症、尿路感染症、創傷感染症などがあります。

【細菌薬剤感受性情報】

2017年8月分

アンチバイオグラム（メチシリン耐性 Staphylococcus aureus (MRSA)）

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CEZ	セファメジン	0	0	100
	CTM	パンスホリン	0	0	100
	CTRX	ロセフィン	0	0	100
	CZOP	ファーストシン	0	0	100
	CMZ	セフメタゾン	0	0	100
	FMOX	フルマリソ	0	0	100
セフェム系経口薬	CFDN	セフゾン	0	0	100
	CFPN	フロモックス	0	0	100
	CDTR	メリアクト	0	0	100
カルバペム系	IPM	チエナム	0	0	100
	TBPM	オラベネム	0	0	100
その他β-ラクタム系	FRPM	ファロム	0	0	100
	ACV	オーグメンチン	0	0	100
	STC	ユナシン	0	0	100
アミノグリコシド系	ABK	ハベカシン	99	0	1
	GM	ゲンタシン	24	2	73
マクロライド系	CAM	クラリス	40	1	59
	AZM	ジスロマック	36	0	64
	CLDM	ダラシン	56	1	43
テトラサイクリン系	MINO	ミノマイシン	76	16	9
その他抗菌薬	FOM	ホスミン	58	6	35
	VCM	バンコマイシン	100	0	0
	TEIC	タゴシット	100	0	0
	DAP	キュービシン	100	0	0
	CP	クロロマイセチン	99	0	1
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	28	5	68
	TFLX	オゼックス	35	5	60
	GRNX	ジェニナック	90	0	10
	LZD	ザイボックス	100	0	0

メチシリン耐性 Staphylococcus aureus (MRSA) の薬剤感受性率は、抗 MRSA 薬であるハベカシン (ABK) は耐性株が 1 件あり、年間を通して数件耐性株があります。残りの抗 MRSA 薬であるバンコマイシン (VCM)、タゴシット (TEIC)、キュービシン (DAP)、ザイボックス (LZD) は年間を通してすべて感受性率100%です。

当検査センターホームページでは詳細な情報をご覧いただけます。http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/